

「大月町観光地連携計画（案）」に係るパブリックコメントで
お寄せいただいたご意見と回答

意見募集実施期間：令和元年5月20日～令和元年6月10日

| 件数 | 該当箇所 | お寄せいただいたご意見 | 大月町の考え方 |
|------|------------|---|---|
| 1人1件 | P10、P20～21 | <p>(計画文中の) パワースポットという言葉は、土地から力を得る目的を持たせる危険性のある言葉だと思います。 珊瑚が持つ、「浄化」、汚れを祓うという作用に伴う言葉を選んでいただきたいです。 【ストーリー性のある観光コースの創出】にある、「癒し」「セラピー」の括りにしても良いと思いますし、へんろ古道と併せて心を清める神秘のお月山と呼ぶのはいかがでしょうか。</p> | <p>「パワースポット」という言葉は、観光ガイドブックなどにおいて、多くの神社仏閣などに「土地から力を得る事ができる神秘的な場所」として一般的に使われている言葉であり、本計画にこの言葉を使用する事に特に問題はないと考えております。</p> |
| 1人1件 | 全体 | <p>環境問題へ取り組み、EV推進へ。 町全体で環境問題に取り組み、大月町の豊かな自然を残し、より一層の観光客誘致。 EV推進を図る企業誘致を行い、雇用を増やし人口増加に取り組む。</p> <p>※その他、詳細な説明資料を添付いただきましたが、ここでは掲載を省略させていただきます。</p> | <p>EV推進につきまして、本町の観光振興においても取り組むべき問題であると感じております。特に、ご意見をいただいた電動アシスト自転車、電動バイクの導入は、大月町の魅力を伝えることのできる有効的な手段であると考えます。 一方で導入に際しては、起伏の多い町内の道路におけるバッテリー消費状況や、それをカバーするためのバッテリーステーションの整備などの課題があるものと考えられます。そこで本町の今後の取り組みとして、下記のとおり追記を行います。</p> <p>「第4章 本町の今後の取り組み」～ソフト整備～ ④EV利用の推進 鳥の声、風の音など大月ならではの自然の音を楽しみながら移動でき、使用時に排気ガスが出ない電動アシスト自転車や電動バイクなどのEV (Electric Vehicle) の利用を推進する。 町内の道路はアップダウンが多くバッテリーの消費が激しいため、バッテリーの充電や交換のできるバッテリーステーションの整備などの対策が必要。</p> |

2人2件